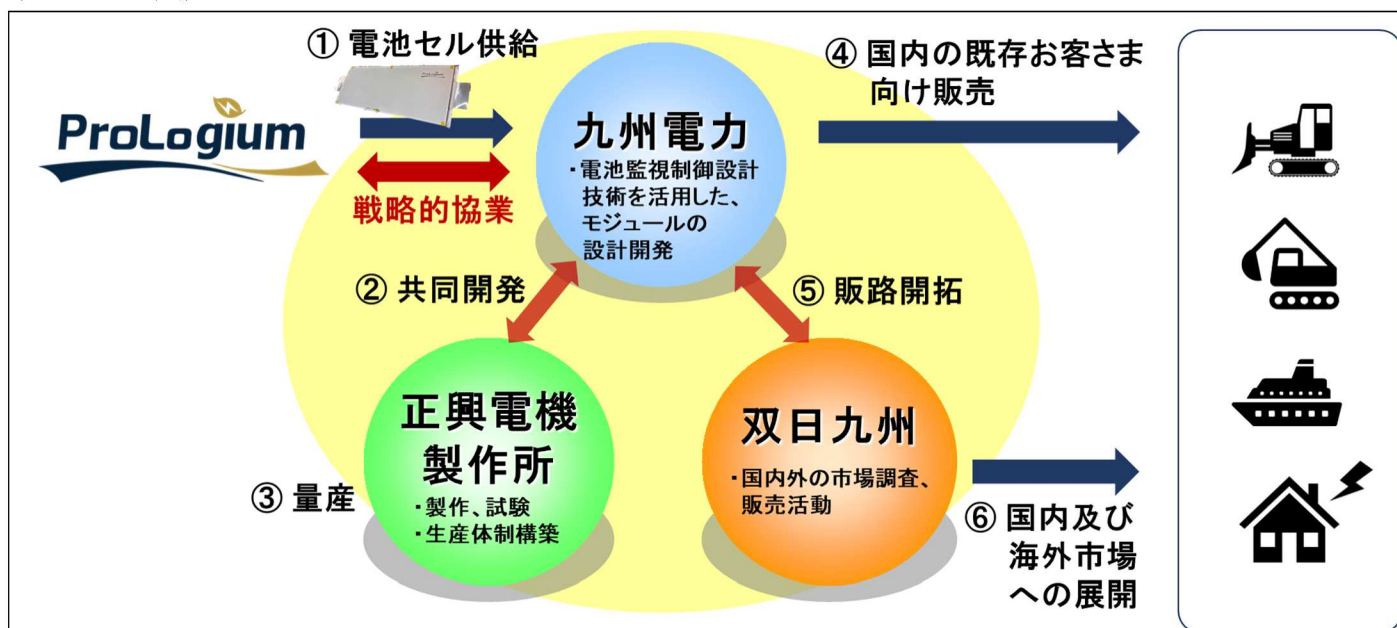


■超流体化無機全固体リチウム電池開発における戦略的協業

ProLogium 社との産業用機械向け開発における協業を足掛かりとして、中長期的には海洋分野やエネルギー貯蔵システム（ESS）等、海外市場への参入も視野に入れた開発を目指します。

（イメージ図）



■超流体化無機全固体リチウム電池 24V モジュールについて (イメージ図)



(予定スペック)

- ・サイズ L600mm×W110×H90mm
- ・モジュール総重量 約 9kg 以下
- ・推定有効容量 2.7kWh (1セル 333Wh/kg、758Wh/L)



セル電池

○ 研究開発

- ・ 本電池モジュールは、正興電機製作所が建設中の北九州学術研究都市^{※1}内にある研究開発センター（仮称）等を活用し、九州電力と正興電機製作所が共同でパイロット製造の研究を実施する予定です。

※1 2001年4月に「アジアに開かれた学術研究都市」として、「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指して、福岡県北九州市若松区にオープンした研究開発・産学連携拠点

(研究開発センター完成予想図)



○ 電池パックの性能評価・安全性評価

- ・ 当社は、2024年度下期から、公益財団法人佐賀県産業振興機構（佐賀県佐賀市：代表理事長：森 孝一）と株式会社中山鉄工所（佐賀県武雄市：代表取締役社長：中山 弘志）による電動クラッシュ向け電池パックの開発及び車両搭載の評価事業^{※2}にアドバイザーとして参加しています。

※2 令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）に採択

- ・ 本事業内で、従来のリチウムイオン電池との性能比較試験や、安全性に関する評価などを行っており、早期普及に向けた取組みを進めています。